

(トップページ:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/>)

(MENAランキングシリーズ:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/MENAranking.html>)

マイライブラリー:0345

(注)本稿は 2015 年 5 月 31 日から 6 月 8 日までの 7 回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2015.6.15
前田 高行

観光資源の持ち腐れ:MENA(中東・北アフリカ)の旅行・観光産業競争力指数(2015年版)

(MENA なんでもランキング・シリーズ その16)

| 目次 | 頁 |
|--|---|
| 1. 「Travel and Tourism Competitiveness Index」について | 2 |
| 2. 本年の MENA 諸国の旅行・観光産業ランク | 3 |
| 3. 分野別のランク | |
| (1) Business Environment(ビジネス環境) | 4 |
| (2) Safety & security(安全・治安) | 4 |
| (3) Health & Hygiene(健康・衛生) | 4 |
| (4) Human Resource & Labour Market(人材・労働市場) | 5 |
| (5) ICT Readiness(情報通信インフラ) | 5 |
| (6) Prioritization of Travel & Tourism(旅行・観光業の優先度) | 5 |
| (7) International Openness(市場開放度) | 5 |
| (8) Price Competitiveness(価格競争力) | 5 |
| (9) Environmental Sustainability(環境保全能力) | 6 |
| (10)Air Transport Infrastructure(航空路インフラ) | 6 |
| (11)Ground & Port Infrastructure(陸上・港湾インフラ) | 6 |
| (12)Tourist Service Infrastructure(旅行者サービス度) | 6 |
| (13)Natural Resources(自然資産) | 7 |
| (14)Cultural Resource & Business Travel(文化資産・ビジネス旅行) | 7 |
| 4. MENA 主要6カ国及びスイス、日本、米国の項目別比較(レーダーチャート) | |
| (1)グループ1:GCC3か国(UAE,サウジアラビア、オマーン) | 7 |
| (2)グループ2:中東の三大国(トルコ、エジプト、イラン) | 8 |
| (3)グループ3:日本、米国および中国 | 9 |
| 5. 2008年~2015年(過去5回)の世界順位の比較 | 9 |

中東北アフリカ諸国は英語の Middle East & North Africa の頭文字をとって MENA と呼ばれています。MENA 各国をいろいろなデータで比較しようと言うのがこの「MENA なんでもランキング・シリーズ」です。「MENA」は日頃なじみの薄い言葉ですが、国ごとの比較を通してその実態を理解していただければ幸いです。なお MENA の対象国は文献によって多少異なりますが、本シリーズでは下記の 19 の国と 1 機関(パレスチナ)を取り扱います。(アルファベット順)

アルジェリア、バハレーン、エジプト、イラン、イラク、イスラエル、ヨルダン、クウェイト、レバノン、リビア、モロッコ、オマーン、パレスチナ自治政府、カタール、サウジアラビア、シリア、チュニジア、トルコ、UAE(アラブ首長国連邦)、イエメン、

これら 19 カ国・1 機関をおおまかに分類すると、宗教的にはイスラエル(ユダヤ教)を除き、他は全てイスラム教国家であり OIC(イスラム諸国会議機構)加盟国です。なおその中でイラン、イラクはシーア派が政権政党ですが、その他の多くはスンニ派の政権国家です。また民族的にはイスラエル(ユダヤ人)、イラン(ペルシャ人)、トルコ(トルコ人)以外の国々はアラブ人の国家であり、それらの国々はアラブ連盟(Arab League)に加盟しています。つまり MENA はイスラム教スンニ派でアラブ民族の国家が多数を占める国家群と言えます。

第 16 回のランキングは、「世界経済フォーラム(World Economic Forum, 略称 WEF)」が公表した「The Travel and Tourism Competitiveness Index(TTCI) 2015」について MENA 諸国をとりあげて比較しました。

* TTCI のホームページ:

<http://www.weforum.org/reports/travel-tourism-competitiveness-report-2015>

1. 「Travel and Tourism Competitiveness Index」について

「Travel and Tourism Competitiveness Index」(旅行・観光産業競争力指数、以下 TTCI)は、スイスで開催される「ダボス会議」の主催者として世界に名を知られている「世界経済フォーラム(World Economic Forum, 略称 WEF)」が作成したものである。

2015 年度レポートでランク付けの対象となった国・地域の数 は 141 であるが、そのうち MENA は 16 カ国である。ちなみに今回ランク付けの対象とならなかったのは、シリア、リビア、イラク及びパレスチナ自治政府の 3 カ国 1 機関であった。

TTCI は Pillar と呼ばれる下記の 14 項目を評価対象としている。項目ごとに 7 点満点とする各国毎の点数をつけ、それらを総合した指数が各国のランクとなっている。

- (1) Business Environment(ビジネス環境)
- (2) Safety & security(安全・治安)
- (3) Health & Hygiene(健康・衛生)
- (4) Human Resource & Labour Market(人材・労働市場)

- (5) ICT Readiness(情報通信インフラ)
- (6) Prioritization of Travel & Tourism(旅行・観光業の優先度)
- (7) International Openness(市場開放度)
- (8) Price Competitiveness(価格競争力)
- (9) Environmental Sustainability(環境保全能力)
- (10) Air Transport Infrastructure(航空路インフラ)
- (11) Ground & Port Infrastructure(陸上・港湾インフラ)
- (12) Tourist Service Infrastructure(旅行者サービス度)
- (13) Natural Resources(自然資産)
- (14) Cultural Resource & Business Travel(文化資産・ビジネス旅行)

(UAE が世界総合順位24位で MENA トップ、日本は初のベストテン入り！)

2. 本年の MENA 諸国の旅行・観光産業ランク(末尾表 16-T01 参照)

ランク付けされている MENA 16カ国の中で旅行・観光産業競争力指数(TTCI)が最も高いのは UAE であり、世界ランクは24位である。この他世界ランク50位以内に入っているのはカタール(世界43位)及びトルコ(同44位)の3カ国だけである。

MENA4位以下は、バハレーン(世界60位)、モロッコ(同62位)、サウジアラビア(同64位)、オマーン(同65位)と続いており、これら7カ国が世界141カ国の中では上位グループに入る。バハレーンは天然資源に乏しく観光を重要産業の一つと位置付け F-1 レースを催したり、サウジアラビアからの観光客呼び込みに熱心である。一方、サウジアラビアには名の通った歴史遺産や自然遺産は少ないが、イスラム教の聖地メッカ(マッカ)とマディナがあり、世界中から毎年数百万人のイスラム教徒が巡礼に訪れる。「巡礼」を観光とみなすか否かには異論もあるが、日本でも「お伊勢参り」が信仰を兼ねた観光旅行として江戸時代から盛んに行なわれてきたことを考えると、立派な観光資源と考えることができる。サウジアラビアには巡礼省と呼ばれる専門の省庁があり、また巡礼で聖地を訪れた旅行者が同国内の他の地域に足を伸ばすことを狙って「サウジアラビア観光・文化遺産委員会(SCTA)」を設立し、観光振興に力を入れている。

オマーンに次いでイスラエル(世界72位)、ヨルダン(同77位)、チュニジア(同79位)が70位台に連なっている。これまで50位以内の常連で会ったチュニジアは「アラブの春」の火元となった国であり、イスラム政権が誕生、ヨーロッパからの観光客から敬遠されたため前回はランク付けの対象からはずされた。今回は世界79位にランク付けされ観光地として復活しつつあったが、ランク付け直後に博物館襲撃のテロ事件が発生、日本人3人を含む外国人観光客ら22人が死亡した。同国には古代ローマ帝国時代の遺産が多く日本人にも人気の観光スポットであるが、今回の事件により来年はさらに順位が下がる可能性がある。

中東の一大観光地であるエジプトの世界ランクは83位である。同国の観光産業はスエズ運河通航料、海外出稼ぎ者の送金と並ぶ国家歳入の三本柱の一つであり、世界中から観光客が訪れるが、アラブの春により独裁政権が倒れイスラム政権が生まれて以降、経済が停滞し電力など国内インフ

ラは大きく傷んでいる。そのイスラム政権もわずか1年でクーデタによる軍事政権に交代するなど政情が安定しないため観光競争力が落ちている。

イラン(世界97位)もエジプト同様多くの観光資源を保有しているが、欧米諸国の経済制裁により旅行・観光産業は停滞し、競争力が低下している。MENA ではこの他クウェイト、アルジェリア、イエメンの3カ国がランク付けされているが、いずれも世界100位以下である。

因みに TTCI 世界ランク1位はスペインであり、米国は4位、日本は9位である。また中国の世界ランクは17位である。日本は2011年までは世界20位台であったがその後三年連続で順位を上げ、今回初めてベストテン入りを果たしている。外国人観光客も大幅に増えており、2020年の東京オリンピック開催に向けて弾みがつきそうである。

3. 分野別のランク(末尾表 16-T02 参照)

冒頭に述べたように総合ランクは14項目の評価ポイントにより決められている。ランク付けされている MENA16カ国について、これら14項目毎の順位を見ると以下の通りである。

(1) Business Environment (ビジネス環境)

この項目ではカタールおよび UAE がそれぞれ世界141か国中の3位と4位を占めている。さらにバハレーン(世界11位)、オマーン(同18位)、サウジアラビア(同23位)も世界の上位にあり、これら GCC5か国はビジネス環境に対する評価が高い。5か国に続くのがヨルダン、モロッコ、クウェイトが世界50位以内に入っている。一方アルジェリア、レバノンおよびイエメンは120位以下である。

(日本27位、米国19位、中国80位)

(2) Safety & Security (安全・治安)

トップのカタールは世界2位で UAE は世界3位、オマーン9位とGCC3か国が世界のトップテンにランクされている。MENAの旅行および観光はとかく安全・治安に問題があるとみられているが、これら湾岸の君主制国家は評価が非常に高い。本項目の日本のランクが世界22位であることと比べれば3か国のランクの高さは瞠目に価する。但し、総合順位ではこれら3か国は米国、日本あるいは中国よりも低い(前項参照)。3か国はビジネス環境あるいは安全・治安では世界のトップクラスであるが、後述するようにその他の項目で米国、日本等に大きく後れを取っているのである。

オマーンに続くのはサウジアラビア(世界29位)、モロッコ(同37位)ヨルダン(同41位)、クウェイト(同43位)の各国である。これに対してレバノン、エジプトおよびイエメンは130位台であり安全・治安面では世界最低レベルにある。MENAの平均順位は72位。

(日本22位、米国73位、中国58位)

(3) Health & Hygiene (衛生)

この項目のMENA各国の世界順位はおしなべて低くトップのイスラエルが世界36位であり、レバノン(世界39位)、カタール(世界43位)と続くが、世界50位以内はこの3か国だけである。主要な観光国であるトルコ、エジプト、オマーンおよびUAEは60位台であり、イランが93位などいずれも

衛生面の評価が高くない。

(日本13位、米国56位、中国68位)

(4) Human Resources & Labor Market (人材・労働市場)

旅行・観光の人材・労働市場の面で最も高い評価を受けたのはカタール(世界14位)である。このほか世界50位以内はUAE(同22位)およびイスラエル(同39位)の3か国のみである。トルコは世界141か国中の88位にとどまり、エジプト、イラン両国はいずれも100位以下である。MENA諸国は観光産業の人材が十分ではないと言えよう。

(日本15位、米国11位、中国16位)

(5) ICT Readiness (情報インフラ)

MENA 諸国の中で旅行・観光産業関連の情報インフラがバハレーン(世界15位)、UAE(同16位)であり、20位台にカタールおよびサウジアラビア、30位台にイスラエルおよびクウェイトが並んでいる。情報インフラのような大きな初期投資が必要なものは財政が豊かな湾岸産油国が有利であり、トルコ(世界68位)、エジプト(同80位)、イラン(同98位)各国よりもかなりランクが高い。

(日本9位、米国14位、中国72位)

(6) Prioritization of Travel & Tourism(旅行・観光業の優先度)

MENA 諸国の中で国策として旅行・観光業に高い優先度を置いているのはトップがヨルダン(世界19位)であり、これに続くのがモロッコ(同26位)、レバノン(同29位)である。3か国とも豊かな自然・文化遺産を有している一方、天然資源が乏しく、有力な製造業がない。また生活が必ずしも豊かではなく失業率も高いため外国人観光客の誘致が重要な政策の柱となっている。これらの国々のほかUAE(世界39位)、カタール(同45位)など一部の湾岸産油国も世界の上位グループに入っている。これに対してイラン(世界130位)、クウェイト(同135位)、アルジェリア(同139位)などは観光振興に対する当局の取り組みが弱いようである。

(日本20位、米国17位、中国55位)

(7) International Openness(国際市場への開放度)

この項目で MENA の1位、2位はトルコとヨルダンでありそれぞれの世界順位はトルコが61位、ヨルダンは64位である。これは世界141か国中でも中のやや上という水準である。これに続く UAEは(世界85位)は世界の低位グループである。MENA の半数以上の国は100位以下であり、エジプトは115位、イランは116位である。またクウェイト、アルジェリア、サウジアラビア、イエメンの各国は130位台で世界最下位グループに位置づけられている。MENA の平均順位は世界108位であり14項目の中では最も低い。MENA の多くはイスラム国家であり宗教的な制約があり、また工業が未発達で旅行・観光業のようなサービス産業に従事する国内中小企業を保護する政策が根底にあることが国際市場に対する開放を阻害しているものと考えられる。

(日本16位、米国32位、中国96位)

(8) Price competitiveness in T&T industry (価格競争力)

中東・北アフリカ諸国では UAE、サウジアラビアなどの豊かな湾岸産油国に限らず、エジプト、イエメンなど貧しい国でも食料品、ガソリン代などの生活必需品あるいはバス、鉄道等の公共交通費には多額の政府助成金が注がれており物価が極めて安い。そのような一般的状況が本項目に反映しているものと思われ、この項目は総合順位とは対照的な様相を示している。即ち国別ではイランが世界1位であり、エジプト(同2位)、イエメン(同4位)、チュニジア(同7位)、アルジェリア(同10位)と世界のベストテンに5か国が入っている。各国の総合順位はイラン97位、エジプト83位、イエメン138位、チュニジア79位、アルジェリア123位である(上記1参照)。これらの国々は価格競争力においてのみ旅行・観光業の優越性が保たれているといっても過言ではないと言えよう。

一方先進国は物価の高さが災いして価格競争力の点で世界に大きく後れを取っており、日本は世界119位、米国は102位である。総合競争力世界1位のスペインもこの項目の世界順位は105位と極めて低い。

(日本119位、米国102位、中国34位)

(9) Environmental Sustainability(環境保全能力)

この項目の MENA トップは UAE であるが、同国の世界順位は41位でありあまり高いとは言えない。世界50位以内にあるのは UAE とカタール(世界50位)の二か国だけである。MENA16か国のうち半数の8か国は世界100位以下であり、クウェイト(世界136位)、イエメン(同138位)は最下位レベルである。この項目では日本も50位以下、米国、中国は100位以下である。

(日本53位、米国111位、中国137位)

(10) Air transport infrastructure (航空路インフラ)

観光客を誘致する航空路が最も整備されている国として高い評価を受けたのは UAE で世界ランクは3位と言う高い評価を受けている。同国のドバイ空港は周辺国のみならず中央アジア、東アフリカなど広域圏のハブ空港となっており、MENA では今や別格の存在である。二番目はトルコ(世界16位)、三番目はカタール(29位)でこれら3か国に次ぐのがサウジアラビア(40位)、バハレーン(45位)である。本項目で世界100位以下の国はアルジェリア(113位)とイエメン(134位)であり、MENA の多くの国は世界の中位に位置している。MENA 平均順位は世界141か国中の63位である。

(日本19位、米国2位、中国25位)

(11) Ground and Port infrastructure (陸上・港湾インフラ)

陸上および港湾インフラが整備されているのはバハレーン(世界11位)、UAE(同20位)、カタール(同26位)、オマーン(同40位)等であり GCC 各国が上位に並んでいる。その他中東の主要な国ではトルコが世界54位、サウジアラビア60位、イランは76位であり、エジプトは103位にとどまっている。

(日本17位、米国31位、中国53位)

(12) Tourist Service infrastructure (旅行者サービス度)

MENA で旅行者に対するサービス度が最も高いと評価されているのは UAE で同国の世界順位は

26位である。これに続き世界50位以内に入っているのはレバノン(世界33位)、トルコ(同38位)、カタール(同46位)、バハレーン(同49位)である。一方サービス度が低いとされているのはイエメン(世界113位)、イラン(同119位)、アルジェリア(同138位)である。中東の観光大国であるエジプトは世界89位である。

(日本75位、米国7位、中国102位)

(13) National resources (自然資産)

中東北アフリカは平坦な砂漠の乾燥した国が多く、自然の景観は変化に乏しい。このため平均世界順位は107位にとどまっている。MENA では世界50位以内の国はなく、トップのモロッコは世界59位である。同国に続くのはトルコ(世界73位)、サウジアラビア(同83位)、オマーン(同90位)、UAE(同95位)、イラン(98位)、イスラエル(同99位)であり、エジプト、カタールを含め MENA16か国中の9か国は世界100位以下である。

(日本30位、米国3位、中国6位)

(14) Cultural resources (文化資産)

この項目で MENA トップはトルコ(世界16位)であり、イラン(同37位)、モロッコ(同39位)、エジプト(同41位)の各国が世界40位前後で続いている。その他アルジェリア(同50位)、イスラエル(同52位)など古代から中世、あるいはイスラム教とユダヤ教と言った時代と宗教を背景にした文化資産を誇る国々が並んでいる。

(日本6位、米国13位、中国4位)

4. MENA 主要6カ国及びスイス、日本、米国の項目別比較(レーダーチャート)

ここでは下記の3つのグループについて2015年の各国の項目別世界順位をレーダーチャートにより比較してみる。

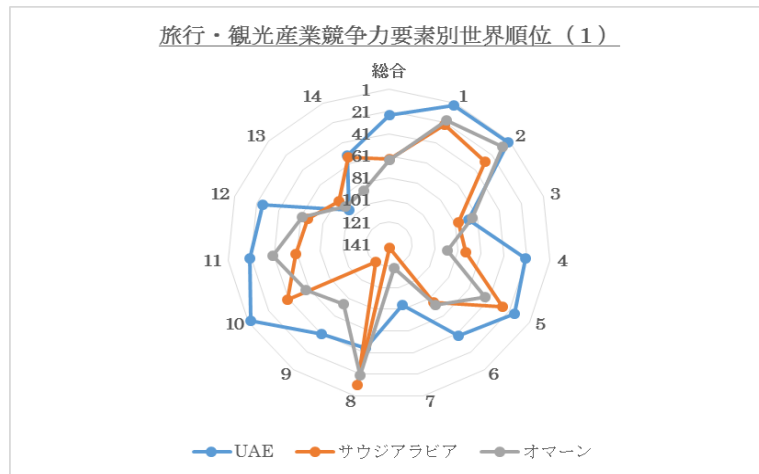
- (1) グループ1: GCC3か国(UAE, サウジアラビア, オマーン)
- (2) グループ2: 中東の三大国(トルコ, エジプト, イラン)
- (3) グループ3: 日本, 米国および中国

レーダーチャートは最も外側が世界順位1位であり内側の中心は世界151位である(実際の調査対象国数は141か国)。また最上段の1から14までの記号は第二項に述べた調査項目の(1)から(14)を示している。各分野の世界順位を結ぶ青い輪が各国の状況である。レーダーチャートの青い輪が外側に広がっているほど世界での順位が高く、また輪の形が円に近いほど各分野の均衡がとれていることを示している。

(1) グループ1: GCC3か国(UAE、サウジアラビア、オマーン)

これら3か国の総合順位はそれぞれ UAE24位、サウジアラビア64位、オマーン65位であり、UAE が傑出している。項目別に見ても 8.価格競争力および 13.自然資産の2項目が3か国中最も低く、14.文化資産・ビジネス旅行でわずかにサウジアラビアより低位にあるが、その他の項目についてはUAEはサウジアラビアおよびオマーンを大きく引き離している。特に4.人材・労働市場分野ではUAE が世界順位22位であるのに対して、サウジアラビアおよびオマーンはそれぞれ74位、90位

の世界下位グループにとどまっている。9.環境保全能力、10.航空路インフラ 12.旅行者サービス度などの分野でも UAE と他の2か国の格差は大きい。

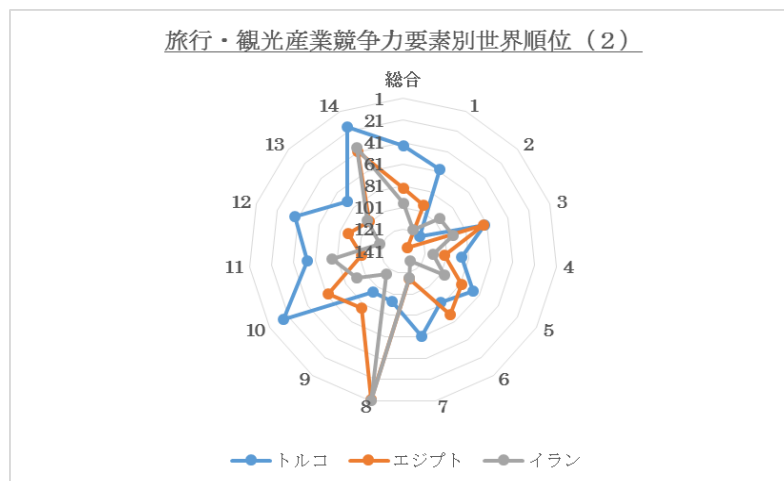


各国別に見ると、まず UAE は 1.ビジネス環境、2.安全・治安、10.航空路インフラの3分野では世界のトップ・テンに評価されており、その他の分野でも世界20位前後が多い。UAEの世界順位が低い分野は13.自然資産(世界95位)、7.市場開放度(同85位)などである。

総合世界順位64位のサウジアラビアの場合は8.価格競争力が世界11位であり、その他 1.ビジネス

環境、2.安全・治安、5.情報・通信インフラの3分野が世界20位台である。一方順位が100位以下の分野が7.市場開放度(世界138位)、9.環境保全能力(同121位)であるなど分野によってばらつきが見られる。オマーン(総合世界65位)もサウジアラビアと似た傾向を示しており、1.ビジネス環境、2.安全・治安、8.価格競争力の分野で高い評価を受けているのに対して、7.市場開放度などの分野が低い。

(2) グループ2: 中東の三大国(トルコ、エジプト、イラン)

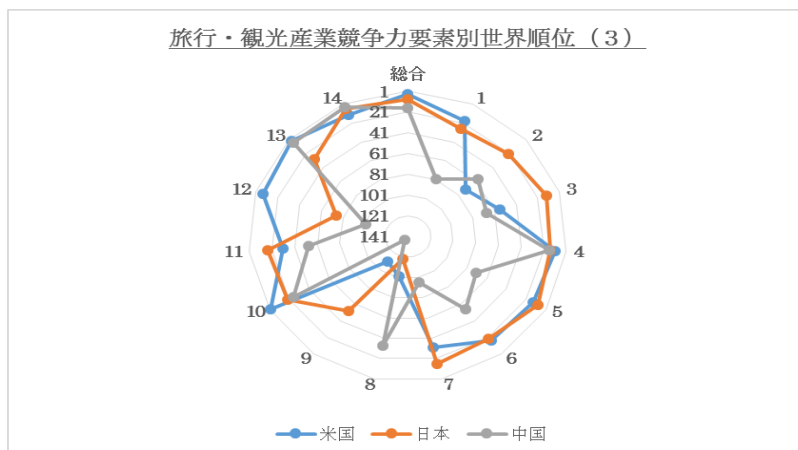


中東の三大国であるトルコ、エジプトおよびイランの総合順位はそれぞれ44位、83位、97位であり、トルコが他の2か国を引き離して世界の上位グループである。トルコは10.航空路インフラ、14.文化資産・ビジネス旅行の分野が世界16位でエジプトおよびイランを大きく引き離しており、その他 7.市場開放度、12.旅行者サービス度など多くの分野でも2

か国よりかなり高い順位を獲得している。唯一の例外は価格競争力でありこの分野ではイランが世界1位、エジプトは世界2位であるが、トルコは世界94位にとどまっている。

国別に見るとトルコは 10.航空路インフラ、14.文化資産・ビジネス旅行の世界順位が高い一方、2.安全・治安、8.価格競争力、9.環境保全能力の分野が世界100位前後と低い。その他の分野の多くは世界40~60位である。エジプトは価格競争力(世界2位)以外の分野はいずれも世界60位以下であり、特に2.安全・治安は世界最低水準の136位にとどまっている。イランは6.旅行・観光業の優先度など6つの分野が世界100位以下であり、価格競争力(世界1位)、14.文化資産・ビジネス旅行(同37位)の2分野だけが突出している。

(3) グループ3: 米国、日本、中国



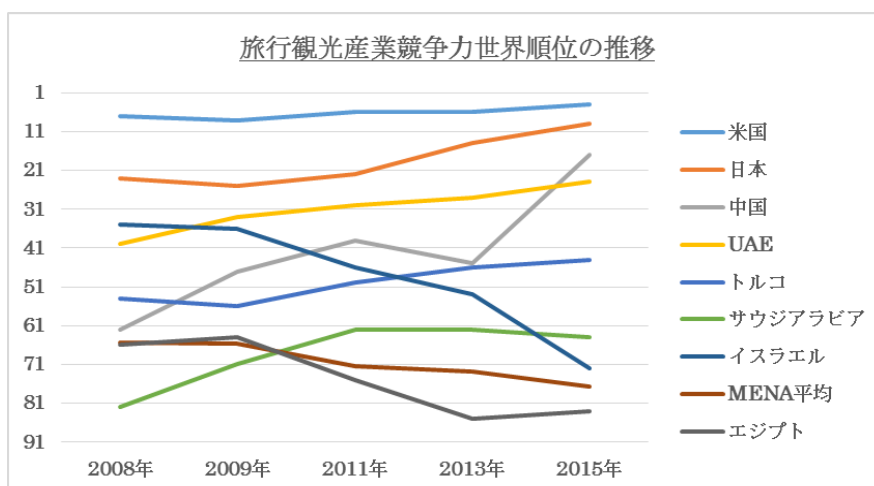
総合世界順位は米国4位、日本9位、中国17位といずれも世界のトップクラスである。米国は 10.航空路インフラ、12.旅行者サービス度および 13.自然資産の3分野が世界10位以内であり、その他の5分野も20位以内にあるなど全般的に評価が高い。しかし 8.価格競争力および 9.環境保全能力は世界順位が100位以下でありレーダーチャートに局所的な歪みが見られる。

日本は今回初めて世界のトップ・テン入りを果たしており、3.健康・衛生(世界13位)、4.人材・労働市場(同15位)、5.情報通信インフラ(同9位)など14分野中9つの分野で世界20位以内に入っている。但し米国同様 8.価格競争力が低く(世界119位)、12.旅行者サービス度(世界75位)は他の分野に比べて大きく劣っている。

中国は 14.文化資産・ビジネス旅行分野は世界4位で米国および日本を上回っており、その他 13.自然資産、4.人材・労働市場の評価も高いが 9.環境保全能力は世界最低レベルの137位にとどまっており、12.旅行者サービス度も世界の平均を大きく下回っている(世界102位)。

中国は 14.文化資産・ビジネス旅行分野は世界4位で米国および日本を上回っており、その他 13.自然資産、4.人材・労働市場の評価も高いが 9.環境保全能力は世界最低レベルの137位にとどまっており、12.旅行者サービス度も世界の平均を大きく下回っている(世界102位)。

5. 2008年～2015年(過去5回)の世界順位の変遷の比較



旅行・観光産業競争力ランクは2008年、2009年と続きその後は隔年で公表されている。ここでは MENA5か国(UAE、トルコ、サウジアラビア、イスラエルおよびエジプト)および MENA の平均順位にさらに日本、米国、中国を加えて過去5回の競争力順位の変遷を比較検討してみる。

比較検討してみる。

今回 MENA トップであった UAE は2008年は世界40位であった。しかし UAE はその後、33位('09年)→30位('11年)→28位('13年)→24位('15年)と毎年世界順位を上げるとともに MENA トップの地位を維持している。UAE とは対照的にイスラエルは2008年以降、36位('09年)→46位('11年)→53位('13年)→72位('15年)と毎年世界順位を下げており、MENA16か国の

中でも8位にとどまっている。

エジプトも2009年の世界64位から2013年には85位に落ち込んでおり今年はずいぶん順位をあげたものの世界の低位グループから抜け出られない。MENA 諸国はイスラエルやエジプトのように過去数年に順位を落とした国が多く、その結果、MENA の平均順位も65位(2008年)→66位('09年)→72位('11年)→73位('13年)→77位('15年)と長期低落傾向にある。

米国、日本および中国各国の推移を見ると、米国は安定して世界のベストテンに入っており、2015年は過去最高の4位である。日本は2008年から2011年までは20位台前半にとどまっていたが、前は14位に急伸、今回はついに9位と、世界のベストテンに入っている。中国も躍進が著しく2008年の62位から2009年には世界50位以内に入り、2013年の45位から今回は一気に17位に上昇している。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

旅行・観光産業競争力指数(2015年度)

(Travel and Tourism Competitiveness Index)

| | 国名 | 2015年 | | 2013年 | 2011年 | 2009年 | 2008年 |
|----|---------------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | TTCI 指数 | 世界ランク | 世界ランク | 世界ランク | 世界ランク | 世界ランク |
| 1 | UAE | 4.43 | 24 | 28 | 30 | 33 | 40 |
| 2 | カタール | 4.09 | 43 | 41 | 42 | 37 | 37 |
| 3 | トルコ | 4.08 | 44 | 46 | 50 | 56 | 54 |
| 4 | バハレーン | 3.85 | 60 | 55 | 40 | 41 | 48 |
| 5 | モロッコ | 3.81 | 62 | 71 | 78 | 75 | 67 |
| 6 | サウジアラビア | 3.80 | 64 | 62 | 62 | 71 | 82 |
| 7 | オマーン | 3.79 | 65 | 57 | 61 | 68 | 76 |
| 8 | イスラエル | 3.66 | 72 | 53 | 46 | 36 | 35 |
| 9 | ヨルダン | 3.59 | 77 | 60 | 64 | 54 | 53 |
| 10 | チュニジア | 3.54 | 79 | - | 47 | 44 | 39 |
| 11 | エジプト | 3.49 | 83 | 85 | 75 | 64 | 66 |
| 12 | レバノン | 3.35 | 94 | 69 | 70 | - | - |
| 13 | イラン | 3.32 | 97 | 98 | 114 | - | - |
| 14 | クウェイト | 3.26 | 103 | 101 | 95 | 95 | 85 |
| 15 | アルジェリア | 2.93 | 123 | 132 | 113 | 115 | 102 |
| 16 | イエメン | 2.62 | 138 | 133 | - | - | - |
| | イラク | - | - | - | - | - | - |
| | リビア | - | - | - | 124 | 112 | 104 |
| | パレスチナ自治政府 | - | - | - | - | - | - |
| | シリア | - | - | - | 105 | 85 | 94 |
| | (MENA 平均順位) | | 77 | 73 | 72 | 66 | 65 |
| | MENA 対象国数 | | 16 | 15 | 17 | 15 | 15 |
| | 米国 | 5.12 | 4 | 6 | 6 | 8 | 7 |
| | 日本 | 4.94 | 9 | 14 | 22 | 25 | 23 |
| | 中国 | 4.54 | 17 | 45 | 39 | 47 | 62 |
| | 全世界/MENA 対象国数 | | 141 | 144 | 139 | 133 | 130 |

(Source: World Economic Forum)

旅行・観光産業競争力指数項目別世界順位

| 国名 | 総合順位 | 1. Business Environment | 2. Safety and Security | 3. Health and Hygiene | 4. Human Resources and Labour Market | 5. ICT Readiness | 6. Prioritization of Travel & Tourism | 7. International Openness |
|----------------|------|-------------------------|------------------------|-----------------------|--------------------------------------|------------------|---------------------------------------|---------------------------|
| アルジェリア | 123 | 121 | 95 | 84 | 109 | 105 | 139 | 137 |
| バハレーン | 60 | 11 | 71 | 75 | 52 | 15 | 97 | 105 |
| エジプト | 83 | 95 | 136 | 64 | 103 | 80 | 69 | 115 |
| イラン | 97 | 119 | 96 | 93 | 114 | 98 | 130 | 116 |
| イラク | - | - | - | - | - | - | - | - |
| イスラエル | 72 | 51 | 99 | 36 | 39 | 32 | 64 | 95 |
| ヨルダン | 77 | 35 | 41 | 59 | 65 | 65 | 19 | 64 |
| クウェイト | 103 | 46 | 43 | 62 | 93 | 39 | 135 | 132 |
| レバノン | 94 | 122 | 130 | 39 | 112 | 88 | 29 | 97 |
| リビア | - | - | - | - | - | - | - | - |
| モロッコ | 62 | 42 | 37 | 98 | 107 | 75 | 26 | 94 |
| オマーン | 65 | 18 | 9 | 65 | 90 | 45 | 73 | 119 |
| パレスチナ自治政府 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| カタール | 43 | 3 | 2 | 43 | 14 | 25 | 45 | 125 |
| サウジアラビア | 64 | 23 | 29 | 78 | 74 | 28 | 76 | 138 |
| シリア | - | - | - | - | - | - | - | - |
| チュニジア | 79 | 71 | 98 | 76 | 87 | 76 | 44 | 103 |
| トルコ | 44 | 59 | 121 | 63 | 88 | 68 | 83 | 61 |
| UAE | 24 | 4 | 3 | 69 | 22 | 16 | 39 | 85 |
| イエメン | 138 | 128 | 139 | 115 | 133 | 128 | 138 | 139 |
| (MENA 平均順位) | 77 | 59 | 72 | 70 | 81 | 61 | 75 | 108 |
| | | | | | | | | |
| (総合世界 1 位)スペイン | 1 | 100 | 31 | 33 | 34 | 31 | 6 | 41 |
| 米国 | 4 | 19 | 73 | 56 | 11 | 14 | 17 | 32 |
| 日本 | 9 | 27 | 22 | 13 | 15 | 9 | 20 | 16 |
| 中国 | 17 | 80 | 58 | 68 | 16 | 72 | 55 | 96 |

| 国名 | 8.Price Competitiveness | 9.Environmental Sustainability | 10.Air Transport Infrastructure | 11.Ground and Pot Infrastructure | 12.Tourist Service Infrastructure | 13.Natural resources | 14.Cultural resources and Business Travel |
|----------------|----------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|----------------------|--|
| アルジェリア | 10 | 113 | 113 | 121 | 138 | 127 | 50 |
| バハレーン | 18 | 104 | 45 | 11 | 49 | 133 | 105 |
| エジプト | 2 | 77 | 63 | 103 | 89 | 100 | 41 |
| イラン | 1 | 115 | 93 | 76 | 119 | 98 | 37 |
| イラク | - | - | - | - | - | - | - |
| イスラエル | 136 | 101 | 50 | 52 | 72 | 99 | 52 |
| ヨルダン | 70 | 84 | 72 | 82 | 69 | 126 | 118 |
| クウェイト | 37 | 136 | 78 | 62 | 80 | 137 | 125 |
| レバノン | 59 | 129 | 80 | 89 | 33 | 140 | 84 |
| リビア | - | - | - | - | - | - | - |
| モロッコ | 47 | 70 | 64 | 69 | 65 | 59 | 39 |
| オマーン | 20 | 74 | 58 | 40 | 62 | 90 | 88 |
| パレスチナ自治政府 | - | - | - | - | - | - | - |
| カタール | 19 | 50 | 29 | 26 | 46 | 122 | 83 |
| サウジアラビア | 11 | 121 | 40 | 60 | 67 | 83 | 55 |
| シリア | - | - | - | - | - | - | - |
| チュニジア | 7 | 59 | 77 | 94 | 61 | 105 | 70 |
| トルコ | 94 | 95 | 16 | 54 | 38 | 73 | 16 |
| UAE | 45 | 41 | 3 | 20 | 26 | 95 | 53 |
| イエメン | 4 | 138 | 134 | 122 | 113 | 129 | 89 |
| (MENA 平均順位) | 36 | 94 | 63 | 68 | 70 | 107 | 69 |
| | | | | | | | |
| (総合世界 1 位)スペイン | 105 | 29 | 12 | 10 | 4 | 14 | 1 |
| 米国 | 102 | 111 | 2 | 31 | 7 | 3 | 13 |
| 日本 | 119 | 53 | 19 | 17 | 75 | 30 | 6 |
| 中国 | 34 | 137 | 25 | 53 | 102 | 6 | 4 |